

コミュニティースクールと地域学校協働活動の関わりについて

1 コミュニティースクールとは

- ・学校運営協議会を設置した学校
- ・育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて協働していく仕組み。

2 コミュニティースクールの具体的な活動

期日	進捗状況	内容
9月22日	高田小学校(第2回学校運営協議会)	・学校・地域・家庭でつくる挨拶 ・学校経営の進捗状況
9月30日	高田東中学校(第2回学校運営協議会)	・教育アンケート結果 ・「委員が学校のためにできること」について ワークショップ
10月22日	広田小学校(第2回学校運営協議会)	・安全・安心な登下校のための体制・対策について
11月2日	竹駒小学校(第2回学校運営協議会)	・学校経営について ・地域学校協働活動について
11月17日	小友小学校(第2回学校運営協議会)	・学校経営について ・通学路の安全について ・復興防災学習について
11月18日	高田東中学校(第3回学校運営協議会)	・教育アンケート結果 ・「委員が学校のためにできること②」について ワークショップ
12月10日	高田第一中学校(第2回学校運営協議会)	・2学期の学校経営の様子
12月16日	気仙小学校(第2回学校運営協議会)	・学校運営の進捗状況 ・徒歩通学に伴う見守り隊の活動状況

3 地域学校協働活動とは

- ・幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

4 地域学校協働活動の具体的な活動

(具体例)
・放課後見守り(宿題、室内遊び、運動遊び) ・体験活動(稲刈り) ・授業支援(家庭科)
・登校時の見守り ・環境整備(花植え、プール清掃) ・学校行事支援(マラソン大会)

5 成果

- ・「win-winの関係」
学校：地域の人材を活かした教育活動の展開
地域の理解と力強い支援を確保
地域：地域の方々のやりがい
地域づくり

6 課題

- ・「コミュニティの高年齢化」
様々な年齢層を取り込む → 学校運営に様々な視点が入る → より地域に広がる
→ 地域みんなで子どもを育てる → 持続可能で充実した教育活動が展開
- ・「仕組みを活かす」
コミュニティースクールという仕組みを活かした活動
- ・「協議・熟議」
学校からの報告と参加者の感想・要望で終わりがち。目指したい子ども像とビジョンを熟議を通して共有することで、学校経営への参画意識の向上にもつながる。